EA519E－7（ビードブレーカー）取扱説明書

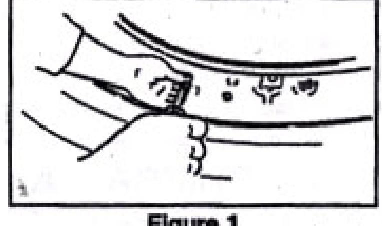
このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

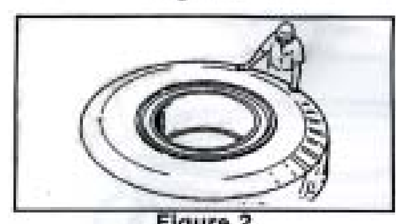
当製品はプライバー用ポケットのあるﾏﾙﾁﾋﾟｰｽﾘ用のビードブレーカーです。リムについているタイヤのビﾄﾞを外すように設計されています。当製品は７００kg/cm^{2}の油圧ﾎﾟﾝﾌﾟと油圧ﾎｰｽを併用してください。

○ ｽﾄﾛｰｸ １５２mm　　○ 能力２５t

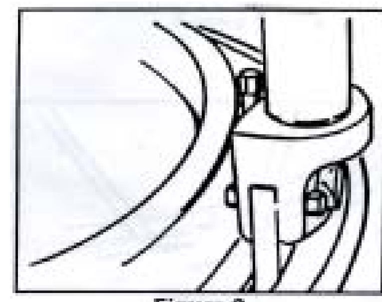
○ 安全のために
１．タイヤの仕様についてはメーカーの指示書などに従ってください。
２．特殊なタイヤには適用できません。適正なリムかどうかはメーカーに確認してください。
３．安全な作業を常に心がけ、不適切な工具の使用は行わないでください。

○ タイヤの外し方
１．ジャッキの反対側車輪に車止めを施します。
２．乗物をジャッキアップします。
３．ジャッキアップ後に適切なスタンドを設置します。
　ｽﾀﾝﾄﾞのない状態下では作業しないでください。
４．バルブコアを外し、タイヤの空気を完全に抜きます。(図1)
５．針金などの先を使い、バルブステムに刺し、空気が
　たまらない様にしてください。
６．車からﾎｲｰﾙを離してビードを外す時は溝側を上にしてタイヤを
　地面においてからビードを外してください。(図2)


Figure 1

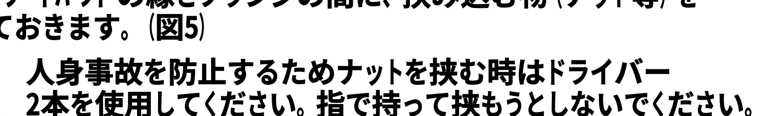

Figure 2

○ ビードブレーカーの設置
１．プライバーのポケットにビードブレーカーをセットします。
　ビードｼｰﾄバンドの縁の下にフックを取り付けます。
２．ビードブレーカーはフランジバット接合部の一方から３０°或は
　約３０cmの所に設置してください。
３．ラム調整ネジを調整してﾎｲｰﾙに対して９０°になるように
　してください (図3)。
４．ﾋﾞｰﾄﾞﾌﾞﾚｰｶｰの横に立ち片手でﾋﾞｰﾄﾞﾌﾞﾚｰｶｰを持ちます (図4)。

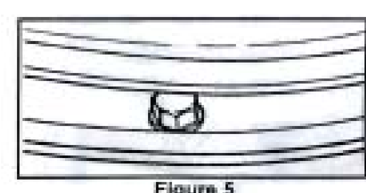

Figure 3

○ 使用方法
１．油圧ポンプを動かしてﾋﾞｰﾄﾞﾌﾞﾚｰｶｰに加圧します。
２．ﾋﾞｰﾄﾞｼｰﾄﾊﾞﾝﾄﾞの縁から約13～19mmほどフランジを押すように
　ﾋﾞｰﾄﾞﾌﾞﾚｰｶｰに圧力を加えます。
３．ﾋﾞｰﾄﾞﾌﾞﾚｰｶｰが動いたり、垂直にならない時はラム調整ネジを
　再調整してください。<u>調整する前に油圧は解除してください。</u>
４．ﾌﾗﾝｼﾞがﾋﾞｰﾄﾞｼｰﾄﾊﾞﾝﾄﾞから19～25mmほど離れるまで加圧します。
５．ﾋﾞｰﾄﾞｼｰﾄﾊﾞﾝﾄﾞの縁とフランジの間に、挟み込む物 (ナット等) を
　入れておきます。(図5)

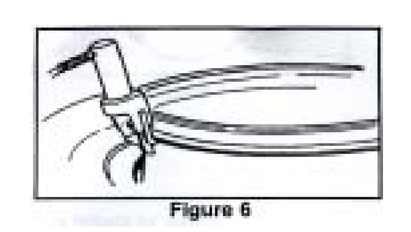

Figure 4

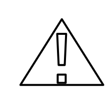

人身事故を防止するためナットを挟む時はドライバー
2本を使用してください。指で持って挟もうとしないでください。

６．油圧を解除します。


Figure 5

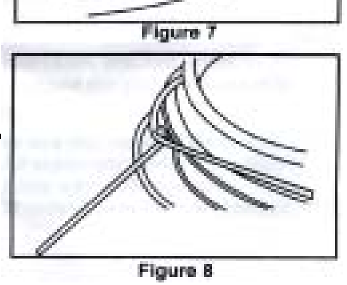
引き続いてタイヤビードの外し方
１．ﾋﾞｰﾄﾞﾌﾞﾚｰｶｰをフランジバット接合面から取り、50cm～１mの所に
　取り付けます。
２．上述の手順を繰り返します。
３．リム上を0.5～1.0mごとにこの行程を繰り返し、ﾋﾞｰﾄﾞを離していきます。
４．リム上を3/4周りほどしたらﾋﾞｰﾄﾞﾌﾞﾚｰｶｰの作業をします (図6)。


Figure 6


１２ｲﾝﾁ以下のフランジバットには使用しないでください。)

５．タイヤからﾋﾞｰﾄﾞを完全に離すためにﾋﾞｰﾄﾞﾌﾞﾚｰｶｰに充分加圧します。
６．油圧を解除してください。

Figure 7


Figure 8

○ ロックリングとOリングの外し方

1. プライバー2本を使用してロックリングを外します。
   リングのストップ部分から始めます。(図7)
2. Oリングの下にプライバーかﾄﾞライバーを差込み、溝からOリングを
   引出し、ナイフで切ります。(図8)

○ ﾋﾞｰﾄﾞｼｰﾄﾊﾞﾝﾄﾞの取り方

1. リムからﾋﾞｰﾄﾞｼｰﾄﾊﾞﾝﾄﾞを注意して持上げます。プライバーなどを使用してくださ
2. タイヤの一方のサイドからフランジを注意して外します。

○ もう一方のビードの外し方

1. 裏面のビードを外す時は、前面のビードを外した時と
   同じ行程で行います。車体にﾎｲｰﾙがついている時は
   小型のラムを使用して外してください。
2. 車体からタイヤを取る時はﾌﾞｰﾑﾄﾗｯｸとﾀｲﾔｽﾘﾝｸﾞを使って外してください。
   分解してからバックフランジを外します。
3. リムからリアリムフランジを外します。

○ 装着と空気入れ

1. ジャッキで上げる反対側の車輪に車止めをします。
2. 乗物をジャッキアップします。
3. ｼﾞｬｯｷｱｯﾌﾟ後に適切なスタンドを設置します。ｽﾀﾝﾄﾞのない状態下では作業しないでください。

○ タイヤとリムの点検

1. リムの損傷を点検します。
2. 損傷した部分を交換します。
3. 必要に応じて清掃し、塗装してください。
4. タイヤとリムの部品を点検し、適性を確認してください。

○ 空気入れ

1. ｸﾘｯﾌﾟｵﾝｴｱｰﾁｬｯｸと充分な長さのホースを使ってください。ｴｱｰﾗｲﾝには圧力ゲージと
   ﾚｷﾞｭﾚｰﾀｰでプリセットできるラインを使用してください。
2. タイヤに0.345barの空気を入れます。
3. タイヤとリムが適正な位置にある事を確認し、Oリングが溝からはみ出していない事を
   確認します。
4. ﾀｲﾔ/ﾘﾑの部分が適切な位置にないときは空気を抜き、問題の箇所を直します。

○ 空気入れ(仕上げ)

1. ﾀｲﾔに1.38barの空気を入れます。
2. タイヤビードが適正な位置にあるかを点検します。
3. ﾀｲﾔに2.76barの空気を入れます。ﾋﾞｰﾄﾞが正しくない時は空気の注入を止め、空気を抜いて
   から直します。
4. タイヤビードが完全に2.76barの圧力下でも適正にある時は、ﾀｲﾔから完全に空気を抜きます。
5. ﾀｲﾔにメーカー推奨の圧力空気を入れてください。

株式会社 エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀３－８－１４
TEL (06) 6532-6226　FAX (06) 6541-0929
東京／TEL (03) 3450－4003